

講義予定

2025. 4.18. 大橋 幸泰

[概要と目標]

近世日本における民衆世界の諸問題を材料に、人々の秩序認識について考える。それにより、近世人を拘束していた固有の秩序を理解し、歴史的な思考力を習得する。

[講義予定]

- 4月18日 1.ガイダンス—民衆史研究という方法
- 4月25日 2.近世人の常識(1)—幕藩体制の構造と支配イデオロギー
- 5月2日 3.近世人の常識(2)—所有観念
- 5月9日 4.近世人の常識(3)—身分と属性
- 5月16日 5.島原天草一揆と近世秩序(1)—経済闘争か宗教戦争か
- 5月23日 6.島原天草一揆と近世秩序(2)—近世人の一揆認識
- 5月30日 7.中間小活—近世人の常識と政治文化／近世政治文化をめぐる議論の時間
- 6月6日 8.異端的宗教活動と近世秩序(1)—宗門改と類族改
- 6月13日 9.異端的宗教活動と近世秩序(2)—潜伏キリシタン存続の外在的条件
- 6月20日 10.異端的宗教活動と近世秩序(3)—潜伏キリシタン存続の内在的条件
- 6月27日 11.近代移行期の秩序認識(1)—潜伏キリシタンの明治維新
- 7月4日 12.近代移行期の秩序認識(2)—民衆宗教の登場と「信教の自由」
- 7月11日 13.総括—属性論の射程／属性論という方法と近世宗教をめぐる議論の時間
- 7月18日 14.試験

[教科書]

大橋幸泰『潜伏キリシタン 江戸時代の禁教政策と民衆』（講談社学術文庫、2019年）

[参考文献]

大橋幸泰・深谷克己編『〈江戸〉の人と身分 6 身分論をひろげる』（吉川弘文館、2011年）

大橋幸泰『検証 島原天草一揆』（吉川弘文館、2008年）

大橋幸泰著『近世日本邪正論 江戸時代の秩序維持と隠れ／隠し念仏』（勉誠社、2024年）

[付 記]

- 1.次回以降、レジュメについては、前日 23 時 59 分までに Waseda Moodle にアップするので、各自印刷して講義に持参するか、ノートパソコンなどから閲覧すること。
- 2.試験のほか、小レポートを求める。小レポートの詳細は別途指示する。なお、小レポートを提出した者が試験の受験資格を得る。
- 3.大橋と受講生との間の緊張関係を維持するため、毎回、講義の要約(200～400字程度)を記した講義記録の提出を求める。講義中に時間をとって講義記録を書く時間を確保するので、ノートパソコンなどから、Waseda Moodle の提出先へ、講義中に提出することが望ましい。講義中に提出できない場合は、翌日(毎週金曜日 23 時 59 分提出期限)までに提出する。この提出をもって出席とみなす。箇条書きではなく、必ず文章にまとめること。ただし、講義記録そのものは評価対象にしない。